

# お天気解説 アキラのズバット

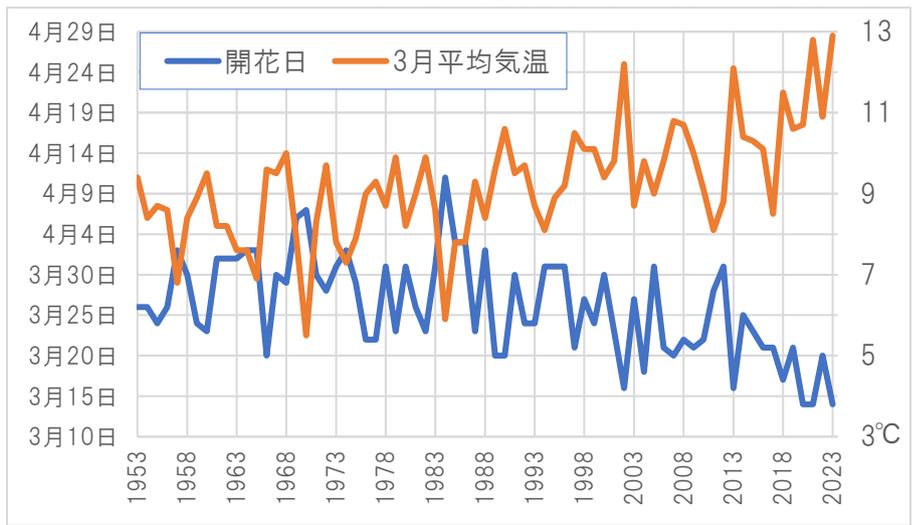
東京地方の気候変動シリーズ  
“Now & Then”

## 桜の開花はいつ？

令和6年3月1日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

いよいよ3月ですが、寒の戻りと冷たい雨でも桜は少しずつ開花に向かっていきます。気象庁が発表した東京の桜の開花日と3月の平均気温をグラフにすると（右図）、東京都心では、桜の開花は3月の気温が高いと早く、低いほど遅くなる傾向が見えます。近年、3月の気温が高くなり、桜の開花が早まる傾向です。



図：東京都心における桜の開花日と3月の平均気温

桜の開花には「冬の寒さ」が必要です。花芽は冬の低温に一定期間さらされることにより休眠から覚める（休眠打破）のです。したがって、暖かい地方では冬でも休眠から覚めないことがあり、開花も遅れます。例えば、昨年の桜開花は東京では3月14日でしたが、冬の気温が東京より高かった静岡では3月19日、鹿児島では3月24日と開花が遅くなっています。人もよく寝ていないとボ～ツとして活動ができないのと似ていますね。

休眠打破が完了すると、気温の上昇に伴い花芽が少しずつ膨らみ始め、開花を迎えます。休眠打破は1月に完了することが多く、2～3月の気温で開花日が決まってきます。そこで、2月からの気温を加算していくことで開花日がいつになるか予想ができます。今年は暖冬と3月のやや低温傾向予想を考え合わせると、開花は3月22日頃か？と思っています。

北国では寒い冬が終わって春になると気温が急に上がり始め、梅の開花日と桜の開花日が近いです。例えば、青森の平年の梅の開花日は4月19日、桜は4月22日。山形は梅が4月3

日、桜が4月13日です。冬の気温が低い地方では梅と桜を同時に楽しむことができます。東京都心では滅多にありませんが、昔、梅の開花が遅く桜の開花が遅くならなかった年は花を両方楽しめたことがあったようです。

これからしばらくは寒暖差が大きいので体調には気を付けましょう。

次回の「東京地方の気候変動」シリーズ“Now & Then”は、「震災と天気」です。

2024年03月01日11時 気象庁 発表			
日付	今日 01日(金)	明日 02日(土)	明後日 03日(日)
東京地方	曇時々晴	晴時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	-/-/20/20	10/10/10/10	10
信頼度	-	-	-
東京 気温 (°C)	最高	16	10
	最低	-	3
			14 (11~15)
			2 (1~4)

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(週末は晴天が期待できそうです)